

Appendix

Appendix 1 今後の課題と進め方（案）

商品マスタ同期化を実業務として実現するための検討を進めていく上で、検討の視点は、以下の4つに大別される。

- ・ 同期化したい情報（商品情報）
- ・ 商品マスタデータ同期化するための業務手順
- ・ 商品マスタデータ同期化するための業務手順を支える技術インフラ
- ・ 商品マスタデータ同期化するための業務手順を支えるビジネス上の取り組み事項

実証実験を実施に際し、今後検討が必要と想定される課題について、上記の4つの視点を基として、以下に整理する。（実証実験実施に際し、SCM事業「業務運用サブWG」において、各委員より、『今後検討が必要な課題』として、提示された内容を、別添資料に添付する。）

- ・ 同期化したい情報（商品情報）
 - 識別コード（GTIN、GLN）の運用ルール策定
 - 商品マスタ項目の標準化検討
- ・ 商品マスタデータ同期化するための業務手順
 - 実験計画・参加企業確定
- ・ 商品マスタデータ同期化するための業務手順を支える技術インフラ
 - 技術要件検討、方式設計、詳細設計
 - 開発・テスト
- ・ 商品マスタデータ同期化するための業務手順を支えるビジネス上の取り組み事項
 - 将来的な課題の抽出
 - ◇ 料金体系等に関するビジネスインフラに関するガイドライン策定等

上記の課題の検討を含めた、今後のスケジュールの想定を次ページに示す。

検討事項	実験開始までに検討が必要な内容	検討主体	想定スケジュール									
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
同期化したい情報 (商品情報)	識別コード(GTIN・GLN)のルール設計	・流通コード委員会										
	商品マスタ項目の標準化検討 -商品マスタ項目の標準化 -項目のValidationルールの標準化	不明										
商品マスタデータ 同期化するための 業務手順	・実験計画案	不明										
	・参加企業の募集	不明										
	・実験計画確定	不明										
商品マスタデータ 同期化するための 業務手順を支える 技術インフラ	・業務要件に対する概要設計	不明										
	・技術要件検討、方式設計、詳細設計	不明										
	・開発・テスト	不明										
商品マスタデータ 同期化するための 業務手順を支える ビジネス上の取り 決め事項	・将来的な課題の抽出	不明										

★
実験開始

Appendix 2 業務運用サブWG 全体WG資料

Appendix 3 業務運用サブWG 課題整理表